

第3回 神経難病緩和医療研究会 講演会

「PEGの適応をどう考えるか？」

—そのとき患者さんにPEGは本当に必要ですか？—

講師：神経内科クリニックなんば 院長 難波 玲子 先生
座長：神経難病緩和医療研究会代表幹事 武井 麻子

PEGに関する症例呈示と多職種によるディスカッション

座長：北祐会神経内科病院 医療相談室 MSW 黒田 清

神経難病では栄養状態が予後を左右するといわれています。
予後を改善したいと思う患者さんばかりではなく、一切の処置を拒否する患者さんもおられます。
今回の講演会では、患者さんのQOL向上に結びつくようPEGの適用についてもう一度考え直し、
PEG使用の問題点の検討と対策を多職種で見直したいと考えています。

日時：2016年 3月11日（金）
開場18:00 開会18:30～20:30

会場：札幌市医師会館 5階西ホール
札幌市中央区大通西19丁目
(地下鉄東西線西18丁目1番出口)

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

対象：神経難病の医療・介護・福祉に関わる職種の方、一般の方

定員：80名
参加費：無料
[原則事前申込制]

神経難病緩和医療研究会について

神経難病に対する薬剤治療/非薬剤治療を含めた緩和医療について各施設の症例経験を共有し、具体的な手法について検討していくことを目的として、2013年2月に設立。緩和医療に関する治療・看護・介護・医療経済など、さまざまな分野の問題点を施設や職種の枠を超えて検討しています。

第1回講演会では「ALSに対する薬物療法、患者さんからみた緩和医療」をテーマに、第2回講演会では「告知と自己決定」をテーマに掲げ、多くの患者さんやそのご家族、医療従事者の方々にご参加いただきました。

お申し込み方法

神経難病緩和医療研究会ホームページ
(<http://www.hokkaido-find.jp/kanwa/>)
の専用フォームからお申し込みいただくか、
本紙裏面の様式にてFAXでお申し込みください。
お申し込み締切：2016年3月4日（金）

神経難病緩和医療研究会 事務局

北祐会神経内科病院 総務課 横澤 利幸
[電話] 011-631-1161 [FAX] 011-631-1163
[E-Mail] kanwa@hokkaido-find.jp
[ホームページ] <http://www.hokkaido-find.jp/kanwa/>

主催：北海道神経難病研究センター 神経難病緩和医療研究会（代表幹事：武井 麻子）

後援：札幌市、北海道医師会、札幌市医師会、札幌市医師会神経内科医会、北海道看護協会、北海道難病連

本講演会は北海道医師会認定生涯教育講座 2単位を取得できます。取得単位登録には医籍登録番号が必要です。

神経難病緩和医療研究会事務局 行

FAX : 011-631-1163

お申し込み締切：2016年3月4日（金）

第3回 神経難病緩和医療研究会 講演会

「PEGの適応をどう考えるか？」

—そのとき患者さんにPEGは本当に必要ですか？—

参加申込書

(参加費無料、先着80名)

日時：2016年3月11日（金）開場18:00 開会18:30～20:30

会場：札幌市医師会館5階西ホール(札幌市中央区大通西19丁目)

※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。

ご所属機関名（医療職の方のみ）			
申込代表者FAX番号			
1	氏名	区分	<input type="checkbox"/> 医療職 ※職種（ <input type="checkbox"/> 一般
	ご質問		
2	氏名	区分	<input type="checkbox"/> 医療職 ※職種（ <input type="checkbox"/> 一般
	ご質問		
3	氏名	区分	<input type="checkbox"/> 医療職 ※職種（ <input type="checkbox"/> 一般
	ご質問		